

友愛會大合衆配布  
六月廿七、五 東京聯合會

## 労働運動の危機

労働運動は、まさに方向を定めようとしてゐる。  
 解放を目指す労働者の前途は、何者かの爲めに、ままたげられやうとしてゐる。  
 労働運動の真正なる目的は、何者かの爲めに、失はしめられやうとしてゐる。労働  
 運動の熱火の如き精神は、何者かの爲めに、冷水を注がれやうとしてゐる。何者か  
 は何者を、自衛なく、意気なく、腹意なく、そしてたい、野心を慢心に満てる指  
 標者ぞれし。

▲組合の利己心を捨てよ  
 労働組合同盟會の分裂、即ち敗退せる友愛會派と新に陣容を整へた組合同盟と  
 の二つの風向の衝突は我輩労働者に何を示すか。各層の職業別乃至産業別組合が、  
 互に互を冒瀆しなければならぬ理由は何處にあるか。  
 然らば、その理由も友愛會側が盛  
 然語らなければならぬ。理由は果して何ぞも會員の自發的意志に非ずして、指導者  
 の独断専横の操縦するぞれし。

▲指導者の愚昧を戒めよ  
 日本労働同盟友愛會（八月限り友愛會の名稱を廢す）の東京聯合大會は、七  
 月五日を以て開かれた。こゝで我等の考へなければならぬのは、如何に完全なる目  
 的組織の形式を踏むにせよ、精神の無い労働運動は何の效果も得られなうといふ  
 ことだ。如何に多数の會員を擁するにせよ、實質の無い労働運動は空論以外の道を  
 進めなうといふことだ。如何に團結の力を頼ると雖も、自發的自衛を以てしては、職  
 業に接をなうといふことだ。

▲指導者の内情を争つてゐる。  
 労働者の自衛と意氣と力とによる自主的精神の運動、他は、野心と慢心と安んじと  
 圖かるる指導者の運動、そして、前者は合意と協力を以てして不斷に前進し、後  
 者は支配と調節とによつて労働者の全自衛的自衛の機會を奪ふ。

▲指導者はいつれの味方か  
 労働運動全體の上にも、友愛會の内情にも、二つの傾向が争つてゐる。一方は、  
 労働者の自衛と意氣と力とによる自主的精神の運動、他は、野心と慢心と安んじと  
 圖かるる指導者の運動、そして、前者は合意と協力を以てして不斷に前進し、後  
 者は支配と調節とによつて労働者の全自衛的自衛の機會を奪ふ。

▲指導者の愚昧を戒めよ  
 日本労働同盟友愛會東京聯合會所属  
 一九二二年七月  
 黒色労働會城南支部

是等は労働運動の友愛として、おられたる會員の  
 長官と我等を以て、同時に彼等管理に對す

丸

## 組合權 大演說會

■主催 友愛會關東聯合會  
 ■日時 七月廿四日午後六時  
 ■場所 神田青年會館  
 順序

- 回開會之辭 司會者 棚橋小虎
- 回友愛會所屬組合各支部 代表者 數名
- 回各組合代表者演說 數名
- 回演說 麻生久
- 回演說 鈴木文治

◆暴虐なる資本家階級は恐慌と失業と  
 の到來を好機としし積年努力の結晶たる  
 労働者團結の權利を蹂躪せんとする

◆全國労働者よ起て!!  
 頑迷なる資本家階級をして労働  
 者の團結權を承認せしめよ